

14.【学生への質問】

「主体性」とは具体的にどのような力・性質だと思いますか
(自由記載⑤)

・自分自ら考え実行できる能力。
・周りが自分に期待しているということも意識し、周りの模範になるレベルで物事に取り組むことができる力。
・誰かに言われてからではなく、自分で考えて行動する力。
・自ら進んで積極的に行動していく力だと思います。
・自分で考えて行動する力。
・自分で課題を発見し、解決策を考え、それを実行できる力。
・他者から課題を与えられて動くのではなく、自ら状況を考え問題を見つけ出し目標をかかげ、実行することができる能力。
・自ら動くことができること。
・何も無駄なことはないと考えること。
・物事を自ら進んで挑戦し、自らの行動に責任を持てること。
・自分から行動し、盛り立てていく力。
・課題を与えられなくとも自ら進んで動き、失敗をおそれない力。
・他者に気をつかい、相手はどうしてほしいかを自分で考え、行動する力。
・指令、指示のされていないフェーズから自分で考え、行動する力。
・自ら考え、実行する力であり、かつ自制心が伴い単なるわがままとは異なる力。
・自分が何かできることを発見することができる能力。
・普段からやるべきことを探して目標を持って取り組む力。
・とにかく自分から動くこと!!

平成28年度

アンケートにご協力いただいた企業の生の声

社会人基礎力の12要素で不要なものはありません。また、いずれも自然に身につけていることでもないと思います。人材が持つポテンシャルを開花させるのに最も有効なのは、期待されている力をそれぞれ発揮する意味を能動的に取りに行くことだと思います。

アイデアも行動力も魅力ですが、モノゴトの目的を自ら考え自分のモノにしていく貪欲さ、しつこさ、そして自分で決める強さを新人に求めたいと思います。

【流通・販売系】

「主体性」は大前提にありますが、当社は「発信力」を大切にしています。自分の想いや考えを話す。課題を見つけて解決策を提案する等、失敗を恐れずに、自ら発信するチャレンジ精神溢れた方を求めています。また、業界としてもこれから成長していくために好奇心旺盛に新しいことにわくわくしたり、貪欲に向上心を持って挑戦できる方と一緒に働きたいと考えております。

【サービス系】

企業としては、「この学生が入社後どのくらい伸びるのか」という点を非常に重視しています。伸びしろのある人は「主体性」を持ち合わせています。「主体性」とは、仕事への強い参画意識を持てる人、弛まぬ向上心を持ち続け、自ら成長しようと努力し続ける人です。勤務を通じて「考え抜く力」がさらに養われていくものであると思います。

【製造系】

- ①「先入観」、「固定観念」、「思い込み」から脱却し、わが社の中で通用する常識に囚われないこと
 - ②「スピード感」を大切にすること
 - ③「個の力」を磨く
- 2016年1月4日 社長年頭挨拶より。

【サービス系】

入社してからの研修や、実際の仕事では、失敗を恐れずどんどん挑戦をしてほしい。また、新人社員で会社の雰囲気を変えたり、新人社員ならではの新しい発想や意見を期待しております。

【IT系】

採用活動において、社会人基礎力の全要素をバランスよく有するということは求めています。入社後に、「自分に足りない力は何か、どのようにそれを補っていくか」ということを考え、突き詰めていく姿勢が大切だと感じます。

【流通系】

仕事の上での課題に対する答えに必ずしも正解はありません。起こっている事象を素直に受け入れ、それに対して自由に発想することが求められます。

【金融サービス系】

最近の学生の傾向として、書類選考時や面接等において、テンプレートに沿ったかのような通り一辺倒なことを仰る方が多いように思います。せっかくご自身固有の経験をされたはずなのに、非常にもったいなく感じます。学生時代に自信を持って物事に主体的に取り組んだ学生さんは、入社後も自分自身に自信を持ってご活躍いただけたらと思います。「～の力を持っている」と取り繕うのではなく、どんな事でも結構ですので「これはやり切った」と言える学生さんならではの経験を積んで頂くことを期待します。業務のスキルは後からでも身に付きますが、自由な時間を使って物事を成し遂げるということは、社会に入ってからではなかなか出来ないと思います。

【流通系】

<アーカイブス① 平成27年度>

アンケートにご協力いただいた企業の生の声

社会人基礎力の中の「前に踏み出す力」が、ここ最近の新卒の人に一番欠けている様に思う。常に人の一步後ろに下がって、周りを見過ぎている様な気がする。何事にも、誰にでも失敗はあるので、そこを乗り越えていける力を学生時代に培ってほしい。

【サービス系】

12の要素は社会人にとって全て必要な力です。「課題発見力」や「計画力」、「発信力」などは身につけようと意識しなければ身につけません・入社から10年後、20年後に「どのような自分でありたいか」という目標を持つことで身につけるべき力が見えてきます。それができていないと、10年後、20年後に大きな差ができてしまいます。

【サービス系】

グローバル社会に対応する能力が求められる様になっています。社会人基礎力のカテゴリーですと「柔軟性」が近いですが、当社としては、「受容性」という考えがよいと思っています。立場の異なる相手を認めつつ、自分の主張もできる人材が求められています。

【製造系】

企業としては、「この学生が入社後どのくらい伸びるのか」という点を非常に重視しています。伸びしろのある人は、「主体性」を持ち合わせており、業務を通じて「考え抜く力」がさらに養われていくものであると思います。

【製造系】

「自ら考え行動する」、相手を納得させ動かすことができる」人材に魅力を感じる。受動的になりがちな学生が多いので、自らの目標を持って積極的に動くことができる学生を採用したい。

【サービス系】

社会人基礎力は新入社員・ベテラン社員に関わらず、全て同じ程度重要なものであると考えております。金融業界はほとんどが形のない商品を扱うビジネスになりますので「人との信頼関係」が必要不可欠な要素です。弊社の新入社員教育では、「信頼関係」をしっかり構築できる社員を養成するために社会人基礎力といた項目を日々の具体的行動に落とし込み自分の強みを伸ばし弱みを克服するための研修等を実施するようにはしておりますが、とりわけ「弱み」として取り上げられる項目で多いのは「主体性（当事者意識を持ち、何事にも興味・関心を持って、できることは自ら進んで実行する）」、「課題発見力（目的を考え行動する）」です。「そもそも何のためなのか」を考え抜き、物事の本質を捉えて行動する」です。

【金融系】

<アーカイブス② 平成24～25年> アンケートにご協力いただいた企業の生の声

入社時にはまず会社という組織・チームの中で活躍できる素質が備わっていることが求められます。最初から「働きかける」、「計画する」、「創造する」よりも、チームで働く素質を基に、業務を入社1年目に理解・習得した上で、その次に応用段階として「計画力」、「創造力」、「働きかけ力」を発揮する人材になってほしいです。(平成25年度アンケートから)

【商社系】

ベテラン社会人でもすべてにおいて長けている者はいません。誰も得意分野があるものです。社会人基礎力を学生本人が活用する際には、すべての能力を磨くことを目的とせず、社会で求められる基礎的要素全体像を理解すること、その中で自身の得意分野(長所)を発見し、自ら目的をもったキャリアデザインを設計するツールとして活用してもらいたいです。(平成25年度アンケートから)

【IT系】

大学時代に徹底的に「考え抜く力」を鍛えて、その上で「前に踏み出す力」を身に付けることを期待します。(平成24年度アンケートから)

【製造系】

学力よりは、社会で働くためには、他人との協調が必要なので、他の人と一緒に何かをしている経験が大切だと思っています。複数の学生で一つのことを行う授業・クラブ・アルバイトでもよいので、何か他の人とやってから社会に出てほしいです。(平成24年度アンケートから)

【IT系】

弊社は入社3年目でプロ人材を育成するよう努めております。今回、備えておくべき力として第1位に「柔軟性」を選択いたしました。弊社では「素直さ」が重要だと考えております。若年層は特に周りの話を受け入れることが成長への第1歩であると考えております。(平成24年度アンケートから)

【製造系】

自分の個性や好き嫌いだけで判断することなく、どんどん幅広いフィールドに飛び出してほしい。前面に自分を出し過ぎて視野が狭くなる傾向が最近の学生に感じる。(平成24年度アンケートから)

【製造系】

12要素のほか、礼儀・挨拶・一般常識やコミュニケーション能力も重視しています。また、指示待ちではなく、積極的に自らが行動することも必要であり主体性を重視します。(平成24年度アンケートから)

【金融系】

就職活動を控えている学生が、早い段階で、「社会人基礎力」という言葉を知り、その内容を理解しておくことが必要だと考えます。この言葉と内容を理解していると、自己分析もしやすくなると思います。(平成24年度アンケートから)

【サービス系】

企業が必要としていることと、学生が必要だと考えていることに少しズレを感じるがあるので「社会人になるためには何が必要か？」を再考してほしい。(平成24年度アンケートから)

【通信系】